



楷樹 (山崎記念館前)

The Higo Foundation for Promotion of Medical Education and Research

肥後医育ニューズレター

(題字 元理事長 徳臣晴比古)

発行所 公益財団法人肥後医育振興会
〒860-0811 熊本市中央区本荘2丁目2番1号
TEL・FAX (096) 373-5425

ホームページ <http://www.119higo.com/>
発行人 理事長 西 勝英 編集人 宇宿 功市郎
印刷所 株式会社城野印刷所 TEL (096) 286-3366(代)

理事長挨拶



公益財団
法人「肥後
医育振興

会」は本年度をもちまして創立

二十四年目を迎えることとなり
ました。創立以来、永きにわた

りご援助、支援していただきま
した皆様深く感謝いたします

と共に、今後ともご指導、ご鞭
撻のほどよろしく願っています。

本財団は熊本大学医学部創立
一〇〇周年を記念いたしましたし

熊本における医学研究、医療の
充実、市民への正しい医学情報

を提供することを目的として発
足いたしました。発足当時、大

学は改革の中にあり、大学医学
部としての在り方に大きな期待

が寄せられていた時期でもあり、
諸先進国では大学の運営に大き

な役割を果たしている「財団」
を模範に設立された組織であり

理事長 西 勝英

ます。このような財団は大学運
営に大きな財政的寄与と社会的
貢献が期待されているところで
あります。

特に熊本県民に対する正しい
医学情報提供として、熊本日日

新聞社、一般財団法人化学及血
清療法研究所との共催で開催し

ています「肥後医育塾の開催」
は六十七回を重ね、県民に対し

てメディアを通じての啓蒙に大
いに寄与しているものと自負し

ています。この二十三年にわた
り多くの情報を提供していただ

いた全国の医学・医療関係者並
びに熊本地域の医療関係者によ

る援助の賜物と感謝しています。
明治時代に創世され一二〇年

を経た熊本大学医学部は現在大
きな変革時期を迎えています。

明治以来敗戦まで日本の医学教
育はドイツ流の学問中心の医学

者を育てる教育を行っていまし

たが、敗戦後一九四五年に新制
大学医学部として一部アメリカ
医学を取り込んできました。し

かし、医学教育のあり方は明治
以来の旧態依然として講義中心

の教育が行われていて、結果と
して、医師養成をあまり重視し

てこなかったのです。ここにき
て、近年の医学教育の世界的な

改革とグローバル化の中で、日
本の医学教育は国際基準に基づ

いた分野別認証評価制度が導入
されることになり、医学教育そ

のものの変革を求められること
になったのです。

折しも二〇一〇年九月に、ア
メリカ「外国人のための医学卒

業生に対する資格認定協会（通
称 ECFMG (Educational

Commission for Foreign Medical
Graduate) から、「二〇二三年

以降は国際基準で認定を受けた
医学学校からの卒業生しか ECF

MG 受験申請する資格を認めな
い」との通達があったのです。

これはグローバル化に対応し、

国際的に通用する医師養成制度
の確立が求められる切っ掛けと
なったのです。

この時流の変化に従い、熊本
大学医学部医学科では、令和元

年度に日本医学教育評価機構の
評価を受けることになりました。

これを機会に本財団では「医療
人育成会議」で医学教育の改革

問題に対する今後の取り組みと
展望についてシンポジウムを企

画しています。国際的に通用す
る医師と同時に、地域に根差し

た医師の養成に本財団が微力な
がら貢献できるよう努めて行き

たいと考えています。
今後、創立二十三年を経た

財団としては、基礎研究助成や
医療教育関連助成に県民への正

しい医療情報の提供に力点を置
き、諸団体、財界からの寄付、

援助をお願いして財政的充実を
図りたいと思っています。ます

ますの皆様方のご支援、ご鞭撻
をお願いいたします。